



## 自動車リサイクル促進センターの ESG 投資

### 東京都発行のグリーンボンドに投資

～ 持続可能な社会の実現に貢献 ～

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村 崇)は、日本国内における循環型社会の実現に関する各種事業を行い、そして全国の自動車ユーザーからお預かりした約 9,400 億円(2019 年 3 月末時点)のリサイクル料金の管理・運用を行っている日本最大級の公益法人です。

自動車ユーザーからお預りしたリサイクル料金は、自動車を使用済みになるまでの間、安全かつ確実な方法で管理・運用を行うこととし、その運用対象資産は「国債」「政府保証債」「地方債」「財投機関債」としているところです。そして、資金管理・運用を通じて、SDGs に関する持続可能な社会の実現に向け、更に社会貢献を推進するため、2018 年度から環境課題や社会課題の解決に資する債券への投資を行ってきました。この投資方針は 2019 年度の運用計画でも推進していくこととしており、今回の東京都発行のグリーンボンドへの投資は、5 月の鉄道建設・運輸施設整備支援機構発行のサステナビリティボンド、6 月の JICA 発行のソーシャルボンド、9 月の住宅金融支援機構発行のグリーンボンドへの投資に続く ESG 投資です。


東京都が発行する「東京グリーンボンド」は、国際資本市場協会(ICMA)が作成したグリーンボンド原則で推奨される第三者機関による評価を取得した債券です。グリーンボンドで調達された資金は、「環境にやさしい都営バスの導入」「都有施設・道路の照明の LED 化」「ヒートアイランド現象に伴う暑熱対応」など、環境への好影響が大きいと想定される事業に充当されます。

※東京都ウェブサイト [http://www.zaimu.metro.tokyo.jp/bond/tosai\\_ir/tosai\\_ir\\_gb.html](http://www.zaimu.metro.tokyo.jp/bond/tosai_ir/tosai_ir_gb.html)

本財団は、ESG 投資が日本国内における資源の有効な利用の向上及び環境の保全に取り組んでいただくきっかけの一つになればと考えており、今後も持続可能な社会の実現に向けて社会的責任を果たしていきます。

➤ **公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)とは**

自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上及び環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	<small>なかむら たかし</small> 中村 崇
自動車リサイクル法指定法人業務の主務官庁	経済産業省、環境省
URL	<a href="https://www.jarc.or.jp/">https://www.jarc.or.jp/</a> 

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター  
広報・理解活動推進部  
電話 : 03-5733-7144